



公益財団法人日本野鳥の会  
カンムリウミスズメ保護事業  
2022年度 活動報告書

## 出前講座などのご案内

現地の会場やオンラインでのカンムリウミスズメについての講演や、観察会などに行きましてカンムリウミスズメについて紹介するなど各地での普及教育活動に講師の派遣などを行っています。

詳しくは、自然保護室にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 TEL：03-5436-2634 e-mail：sanc@wbsj.org



施設での展示物の提供



観察会の開催



講演会などの開催

## Strix (野外鳥類学論文集) vol.39

Strixに神津島の恩馳島と祇苗島で行った早朝洋上調査の結果「カンムリウミスズメの繁殖地としての伊豆諸島恩馳島の重要性」が掲載されました。

ご購入はこちら↓



## ご支援のお願い

カンムリウミスズメの保護など当会の活動は皆さまからの会費やご寄付によって支えられています。

### ◆お問い合わせ

共生推進企画室

TEL：03-5436-2630 e-mail：kifu@wbsj.org

HP：https://www.wbsj.org/

ご支援について↓



バードメイト  
(一口1000円・  
プレゼント付き寄付)



シルバーブローチ  
(一口5000円・  
プレゼント付き寄付)

ご寄付について↓



## 最新情報はこちら

カンムリウミスズメの保護活動の最新情報や調査結果の速報、特徴や生態などをホームページやSNSでお知らせしています。日本野鳥の会ホームページの「当会の活動 - 自然保護活動について - 絶滅危惧種の保護 - カンムリウミスズメ」に掲載しています。TwitterやYouTube、Facebookへもリンクしています。

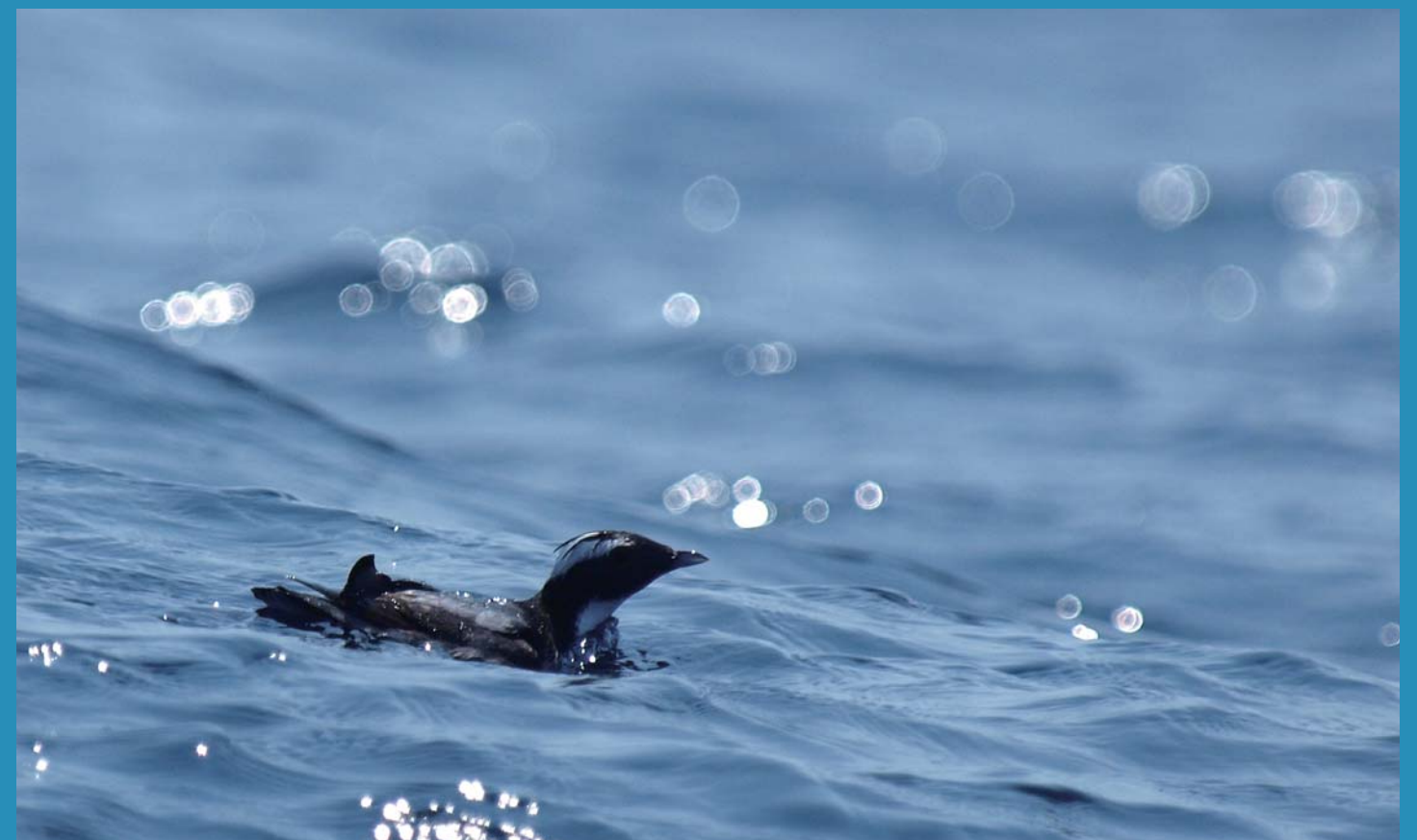


## カンムリウミスズメ保護事業 2022年度活動報告書

公益財団法人日本野鳥の会  
自然保護室  
東京都品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
TEL 03-5436-2634 FAX 03-5436-2635  
2023年10月31日発行



# Annual Report 2022



## 主な活動

- 4月24～26日 神津島(恩馳島・祇苗島)にて早朝洋上個体数調査を実施
- 4月18、25日 三宅島にて日中の洋上個体数調査を実施
- 6月10日 神子元島、烏帽子島にて人工巣の利用確認調査を実施
- 12月12日 神子元島にて人工巣を設置
- 1月18日 烏帽子島にて人工巣を設置
- 1月21日 日本野鳥の会支援者向けセミナーにて講演
- 1月27日 ねむろバードランドフェスティバル2023にて講演
- ・Strix(野外鳥類学論文集)へ調査結果を投稿
- ・HPやSNS、野鳥誌などに記事掲載、株式会社ライフテックHPにて人工巣の活動記事掲載

2022年度、当事業はF氏カンムリ基金をはじめ、クラウドファンディングなど皆様からのご寄付や日軽金アクト株式会社からのご支援を基に実施いたしました。



## 繁殖地の個体数を調べました

どれくらいのカムリウミスズメが各繁殖地を利用しているかを調べるために、日の出の2時間程度前から島のまわりを3～5周し、船から観察できた個体数を記録する個体数調査を行いました。

神津島には、国の鳥獣保護区に指定されている祇苗島と未指定の恩馳島の2つの繁殖地があります。これまでに恩馳島では同じ調査を3回行なっていますが、祇苗島では2015年に4:36から1周調査をしたデータしかありませんでした。そこで恩馳島、祇苗島で調査を実施し、繁殖状況を調べました。恩馳島は最大で375羽、祇苗島は最大で154羽のカムリウミスズメが確認され、恩馳島がカムリウミスズメの繁殖地として重要であることが確認できました。

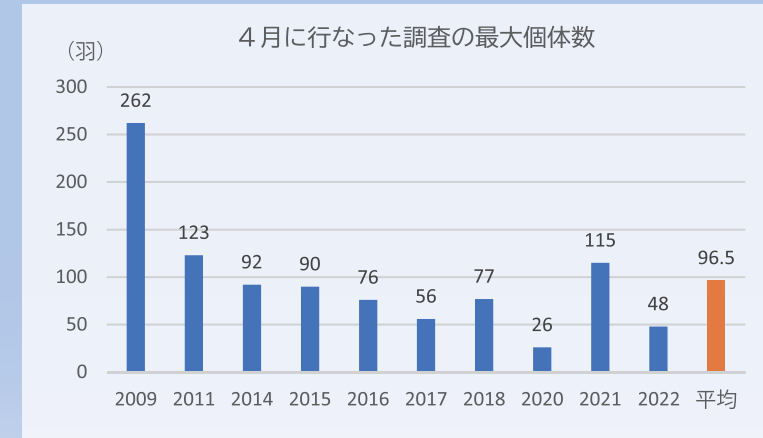


出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)  
地理院タイル（標高タイル）を加工して作成



調査地	調査日	調査時間	調査時刻	最大記録個体数
恩馳島	4月25日	3:12-4:40	2周目 3:36-3:53	375
	4月24日	3:12-4:21	1周目 3:12-3:31	103
祇苗島	4月26日	3:12-4:28	1周目 3:12-3:26	154

※Stirx Vol.39 (2023) に論文掲載



## 人工巣利用が3割を超えました！

静岡県下田市神子元島と福岡県糸島市烏帽子島にカムリウミスズメの繁殖を助けるための人工巣を設置しました。神子元島では、設置した人工巣の三割以上が利用されました。その他に7個で産座が作られており、順調に利用数が増えていることが確認できました。烏帽子島では、昨年度から長崎大学と共同して利用率を上げるために人工巣の設置方法の研究を始めました。これまでと違った置き方をしたこともありまだ利用数は多くありませんが、産座の痕跡が数カ所確認されるなど、今後、利用数が増えることが期待される結果を得ることができました。

設置した人工巣の数と  
利用（産卵）や産座の痕跡があった人工巣の数

島名	設置数		利用率	
	設置数	利用率	孵化	未孵化
神子元島	23	30.4%	6	1
	産座有		7	
	設置数		29	
	利用率		3.4%	
烏帽子島	29	3.4%	1	0
	産座有		2	
	設置数		29	
	利用率		3.4%	

※利用率は利用があった人工巣の割合



アルミ製人工巣を使ったカムリウミスズメのつがいと人工巣から顔を出す巣立ち雛（赤丸）※センサーカメラによる自動撮影

## カムリウミスズメについて講演をしました

1月27日(金)、北海道根室市のねむろバードランドフェスティバル2023でカムリウミスズメの保護活動について講演をしました。根室半島沿岸には、一年を通してウミスズメの仲間が利用する豊かな海が広がっています。カムリウミスズメは夏にこの地域をが訪れ、海の生き物を利用しながら過ごします。普段はなかなか観察できない彼らの暮らしを紹介しました。



1月21日(土)、日本野鳥の会西五反田事務所からオンラインで会員と支援者のみなさんにカムリウミスズメと当会の活動について紹介するオンラインセミナーを開催しました。これまでに行なってきた調査や人工巣の開発、カムリウミスズメの特徴などを動画や写真を使って説明しました。後日見逃し配信でも多くの方にご覧いただくことができました。

